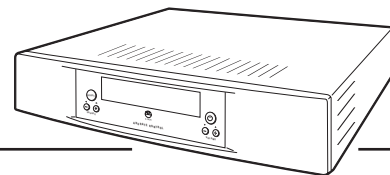




LINN

プリアンプ  
AKURATE KONTROL



オーナーズマニュアル  
日本語

## 安全上のご注意

本マニュアルおよび製品に付されたマークについて



危険な電圧が存在することを警告するものです。感電を引き起こす可能性があるため注意が必要です。



説明書やサービスマニュアルにおいて、操作、メンテナンス、サービス上の重要な事項を示すマークです。

### 注意

**感電の恐れがあるため、カバーを取らないでください。**

ユーザーが修理・調整すべき内部部品はありません。

サービスは有資格の技術者に一任してください。

電源プラグのヒューズは、同タイプ、同定格のものと交換してください。

ヒューズ交換は、電源コードを抜いてから行ってください。

### 警告

火災や感電事故を防止するため、本製品を雨にあてたり、湿気の多いところに置いたりしないでください。

感電の危険あり。開けないでください。

### 電源コードとプラグ

販売する国により、製品には改造不可の電源プラグが付いています。交換用電源コードは販売店でお求めください。プラグ交換が必要な場合、注意して処分してください。導線が露出したプラグをコンセントにつなぐと危険です。

茶色のワイヤはLiveピンに接続します。

青いワイヤはNeutralピンに接続します。

緑/黄色のワイヤはEarthピンに接続します。

少しでも疑問があれば、販売店か技術者にご相談ください



本機器はアースする必要があります。

## 安全注意事項

1. **説明を読む**：本製品を使用する前に、安全注意事項と操作の説明を熟読してください。
2. **説明書を保管する**：いつでも参照できるように、安全注意事項や操作説明が掲載されている文書を保管してください。
3. **警告に従う**：製品と操作説明に記載されたすべての警告事項に注意し、従ってください。
4. **指示に従う**：必ず使用や操作に関する指示を守ってください。
5. **水と湿気**：本機をバスstub、洗面台、台所流し、洗濯槽などの近く、高湿度の地下室内、プールサイドなど、水のそばや湿気が多い場所では使用しないでください。
6. **カートとスタンド**：製造者が推奨するカートとスタンドのみを使用してください。
- 6a. 機器とカートの組合せについては十分な配慮が必要です。急停止、過度な力、平らでない床などにより、機器を搭載したカートが倒れる場合があります。
7. **壁や天井への取付**：壁や天井に取り付ける場合は、必ず製造者の指示に従ってください。
8. **換気通風**：適切な換気ができる位置と向きに設置してください。例えば本機をベッド、ソファ、ラグなどの上に置くことは、通風口を塞ぐ恐れがあるため、避けるべきです。造り付けの書棚やキャビネット内も通風口からの空気の流れを妨げることがあるため、不適当です。
9. **熱器具**：本機は、ラジエーター、ヒーター、ストーブ、その他アンプも含めて、熱を発生するものから離して設置してください。
10. **電源**：必ず、操作説明書や製品本体に記載されたタイプの電源に接続してください。
11. **アースと分極化**：安全性を高める分極プラグ、アース付きプラグの目的を遵守してください。分極プラグには一方が他より広い2つのブレードが付いています。アース付きタイプのプラグには、2つのブレードのほかにアース用の突起があります。この3番目の突起は安全を守るためにあります。製品に付属するプラグがご使用のコンセントに合わない場合は、電気技術者に相談の上、旧型コンセントを取り替えてください。
12. **電源コードの安全**：電源コードは、踏まれたり、他の物に引っかかったりしないように配置してください。特に、プラグ、電源コンセント、本体を出る個所に注意が必要です。
13. **電源プラグ**：本体の主電源を切断するには電源プラグを抜いてください。電源プラグは常に手の届きやすい場所に設置します。本製品を使用していないときは、電源スイッチ（該当する場合）を使用してください。
14. **クリーニング**：必ず製造者の指示に従ってクリーニングを行ってください。
15. **電線**：屋外アンテナは、電線から離して設置してください。

16. 屋外アンテナの接地：チューナー/レシーバーに屋外アンテナを接続する場合は、電圧サージと静電気蓄積から保護するために、アンテナをアースする必要があります。米国の場合、設置に関しては National Electrical Code ANSI/NFPA 70の810項を参照してください。
17. 電話線：本製品は、特に指定がない限り、電話線に接続しないでください。
18. 雷が鳴り出した場合：雷が鳴っているとき、また長期間使用しない場合は、本機器の電源プラグを抜いてください。
19. 異物や液体の混入：本機器内部に異物や液体を入れないでください。水しぶきのかかる場所に置かないこと。液体の入った容器を本機器の上に乗せないでください。
20. サービスが必要になる場合：次のような場合は、専門技術者による修理調整が必要です。
  - a) 電源コードやプラグが破損したとき
  - b) 製品内部に異物や液体が入ったとき
  - c) 製品が雨に濡れたとき
  - d) 製品が正常に作動しないとき、また作動に明らかな異状が見られるとき
  - e) 製品を高いところから落としたとき、キャビネットに破損が生じたとき
21. サービス：操作説明書に記載されたことを超えて機器をご自分で修理しようとなさらないでください。専門技術者にお任せください。
22. 本装置にロウソクなどの裸火を置かないでください。
23. 本装置は温暖気候および熱帯気候地域において使用されるべく設計されています。

## CE 遵守宣言

リン・プロダクツ・リミテッドは、本製品が低電圧に関する指令73/23/EECおよび電磁互換性に関する指令89/336/EEC（92/31/EEC および 93/68/EECにより修正）に準拠することを明言いたします。

当該製品が73/23/EEC (LVD)指令の規定に従っている事実は、下記の各規準を遵守することにより証されています。

規準番号	制定年	試験形式
EN60065	2002	一般要件 マーキング 危険性のある放射物 通常条件における発熱 通常の作動条件における感電の危険 作動条件 絶縁要件 故障の要件 機械的な強度 電源に接続する部品 コンポーネント 端子装置 外部フレキシブルコード 電気接続と機械的な固定具 感電に対する保護 安定性と機械的な危険 耐火性

当該製品が89/336/EEC (EMC)指令の規定に従っている事実は、下記の各規準を遵守することにより証されています。

規準番号	制定年	試験形式
EN55013	2001	誘導排気
EN55013	2001	吸収排気
EN55020	2002	免責

## FCC 通告

### 注記

本機器は試験審査の結果、FCC規則第15部により、クラスBデジタル機器の限度内で作動することが認められました。この限度は、一般家庭用機器の設置における有害な干渉に対し、妥当な保護を提供するために定められたものです。本機器は、高周波エネルギーを発生、使用し、放射する可能性があり、指示に従って設置・使用されない場合、無線通信に干渉するかもしれません。しかし、特定の設置条件により干渉を起こさないという保証はありません。本機器がラジオやテレビの受信を妨害するようであれば、本機器のスイッチを切ったり入れたりすることで、確認できます。次のような方法のひとつで、あるいはいくつかの方法の組合せで、干渉が改善されるかどうかお試しください。

- 受信アンテナの方向を変える。または位置を変える。
- 本機器とレーザーの距離を離す。
- レーザーが接続されている電源の回路とは別の電源に本機器を接続する。
- 販売店またはラジオ/テレビの専門技術者に相談する。

## 著作権と商標記載に関するお断り

Copyright © 2007 Linn Products Ltd. 2007年8月初版

Linn Products Limited, Glasgow Road, Waterfoot, Eaglesham, Glasgow,  
G76 0EQ, Scotland, United Kingdom

すべての権利を留保します。発行者の書面による許可なしには、本書のいかなる部分も、いかなる形式であれ、また電子的、機械的、複写、録音、録画その他いかなる手段であっても、複製、使用可能な形での保存、転送をすることはできません。

本マニュアル記載事項は情報提供のみを目的としたもので、通告なく変更されることがあります。またリン・プロダクツ・リミテッドが内容を保証するものではありません。リン・プロダクツ・リミテッドは本マニュアルに誤りや不正確な記述があったとしても、それに対する責任を負うことはありません。

本書記載の商標について：Linn（リン）およびLinnのロゴは、Linn Products Limitedの登録商標です。AKURATE、UNIDISK、KLIMAX、LIMBIK、KNEKTはLinn Products Limitedの商標です。

Dolby Laboratoriesとのライセンス契約により生産。「Dolby」「Pro Logic」「double-D」のマークは、いずれもDolby Laboratoriesの商標です。

「DTS」「DTS-ES」「Neo:6」「DTS 96/24」はDigital Theater Systems, Inc.の商標です。

リン・プロダクツ・リミテッドでは、弊社以外の商標・商品名に対する所有権を主張することはありません。

Printed in the United Kingdom.

Pack 1321/J

目次			
はじめに	1	操作	19
設置	1	スタンバイキー	19
開梱	1	Ampモード	19
電源の接続	1	ソースの選択	19
設置場所	2	音声の調整	19
クリーニング	2	音量	20
重要な情報—フォノ入力	2	バランス	20
セットアップ	3	スピーカートリム	20
背面パネル	3	Lip Sync遅延	20
接続	5	サラウンドサウンドのフォーマット	21
セットアップメニュー	5	深夜映画モード	23
セットアップメニューの使用	6	もとの音声設定に戻す	23
Speaker setup (スピーカー設定)	6	レコーディング機能	23
Source setup (ソース設定)	8	仕様	25
Audio setup (音声設定)	10	保証とサービス	26
General setup (一般設定)	11		
Linn Disc setup (Linnディスク設定)	13		
Installer menu (インストーラーメニュー)	14		
AKURATE KONTROLをLinn AKURATE CD	14		
プレイヤーと接続して使用する			
AKURATE KONTROLをLinn UNIDISK	15		
プレイヤーと接続して使用する			
前面パネルとリモコン	17		
前面パネル	17		
リモコン	18		

## はじめに

AKURATE KONTROLプリアンプは、ステレオ、マルチチャンネルの両方で、ソースからすばらしい音響パフォーマンスを生み出すよう設計されています。本製品は、表彰を受けたリン社の最高級品、KLIMAX KONTROLプリアンプ用に開発された技術を利用し、純粋な音響パフォーマンスを生み出すと共に、新世代のマルチチャンネルサウンドフォーマットへのアクセスとコントロールを実現しました。

AKURATE KONTROLの持つ多くの機能の中でも特に優れているのは、ターンテーブルや6つのアナログ入力および6つのデジタル入力と接続しDolby Digital 5.1、Dolby Pro Logic II、DTSサラウンド、DTS 96/24を含む、主要なオーディオアルゴリズムをすべて処理する内蔵phono stageです。

AKURATE KONTROLプリアンプは、更に前進したパフォーマンスとすばらしい品質で、リンのお客様をこれまでと同様にサポートし続けると共に、最新のテクノロジーや音声フォーマットを利用した新製品開発へもいち早く取り組んでいます。

AKURATE KONTROLは、LinnのAKURATE CDプレイヤーおよびAKURATEパワーアンプシリーズと組み合わせてお使いいただくのに最適です。AKURATEチューナーおよびAKURATEスピーカーを加えて、トータルなAKURATEシステムを構築し、この専用設計の音楽システムがお届けする比類なき音質をお楽しみください。

## 設置

AKURATE KONTROLプリアンプの設置と設定は、正規販売店に依頼されることをお勧めいたします。

### 開梱

製品には、以下の付属品が同梱されています。

- 蓄光リモコン
- リモコン用単4乾電池 (2本)
- 接続ケーブル (黒) 1組
- RS232コード
- 電源コード
- 保証書パック
- 本マニュアル

将来の輸送などに備えて、梱包材や箱は保管しておいてください。

### 電源の接続

一般家庭の商用電源で作動しますから、電圧を選択する必要はありません。本機にはユーザーが交換できるヒューズは内蔵されていません。各国の規則に従って、電源コードにヒューズ入りプラグが付属している場合もあります。その場合、ヒューズ交換の際には必ず同タイプ・同定格のものを使用してください。



本機を主電源につなぐときは、必ずアースをしてください。付属のアース付き電源コードを使用してください。アースなしのプラグやアダプターは使用しないでください。

## 設置場所

AKURATE KONTROL はどんな場所（19インチラックを含む）にも手軽に置いていただけます。ただし、以下の点にご注意ください。

- 本機は、ディスプレイに日光（直射日光、拡散光、反射光）が当たらない場所に設置してください。本機の赤外線リモートセンサーが日光の赤外線をキャッチし、本機の動作に悪影響を与えるおそれがあります。同様に、プラズマテレビ、蛍光灯や省エネタイプの照明などの電気製品にも、本機の動作に同じような影響を与える赤外線を放出しているものがありますので注意してください。
- 最高の性能を得るためには、本機を他の製品と積み重ねて設置しないでください。本機を単独でシェルフに設置するのが最適ですが、他の製品とやむを得ず近接してしまう場合は、上下に積み重ねるより、左右に並べて設置することをお勧めします。
- 本機はラジエーターやパワーアンプなど、発熱量の多いものの真上や隣接した場所に設置しないでください。また、このような機器と一緒にキャビネットに入れしないでください。
- 本機自体はほとんど熱を発生することはありませんが、放熱のための換気用に本機の両側、後部、上部に若干の空間（10 cm/4インチ以上）を取ることをお勧めします。
- 製品筐体上部の通気を妨げないようにしてください。

## クリーニング

クリーニングは本機の電源ケーブルをコンセントから抜いてから行ってください。ホコリや指紋は柔らかいクロスで拭き取ってください。家庭用クリーナーなどのご使用はお控えください。

## 重要な情報—フォノ入力

本機をシステムに設置する前に下記をお読みください。本機は再設定を必要とする可能性があります。

AKURATE KONTROLには、レコードターンテーブルとの接続を行うためのフォノ入力（背面パネルに6/PHONOと表示）があります。ターンテーブルをお持ちでない場合も、下記の点を考慮願います。

6/PHONOは、moving-magnet (MM) phono stage、moving-coil (MC) phono stage、または追加の「line-level（ラインレベル）」入力として設定することが可能です。これらの用語説明は、下記の注をご参照ください。

出荷時には、6/PHONOはMM phono stageとして機能するように工場設定されています。

6/PHONOをMCまたはラインレベルモードでご使用になる場合、内部ハードウェアの変更が必要なため、お買い上げのLinn販売店による作業が必要です。Linnの指定した関係者以外の人物による改造解体の場合は、保証が無効になります。

6/PHONOの現在の設定を知るには、本機のセットアップメニューからご確認ください。12ページの「ANALOG 6 TYPE」をご参照ください。

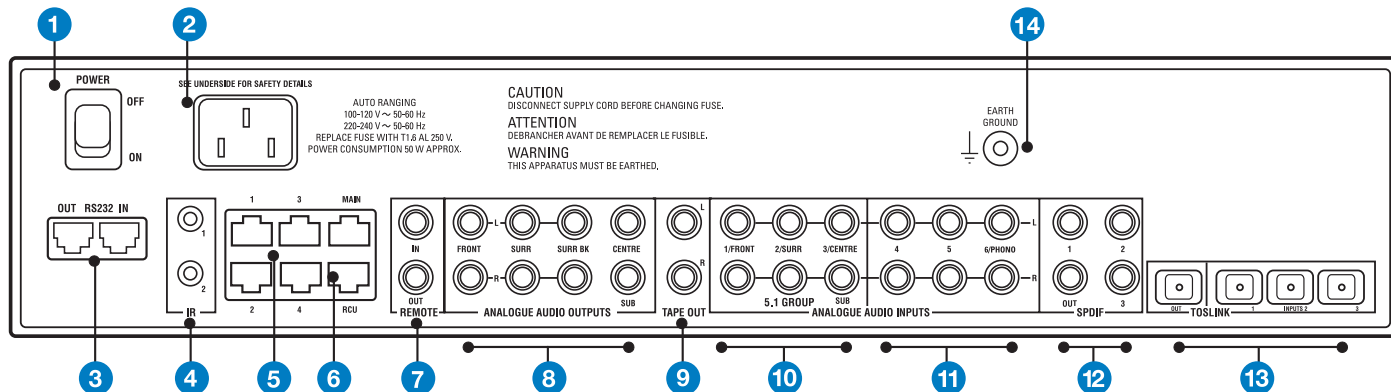
注記：

「moving-magnet」および「moving-coil」は使用可能なphono cartridgeの2つのタイプです。ターンテーブルをお持ちでいずれのタイプのカートリッジを使用しているかご不明の場合、パッケージまたはメーカー公表の情報をご参照くださるかお買い上げの販売店にお問合せください。「line-level（ラインレベル）」入力はターンテーブル以外の音声ソース、すなわちCDプレイヤー、DVDプレイヤー、ラジオチューナー、衛星放送受信機などとの接続用です。

Phono stageにおいては極端に低い信号レベルを増幅するため、細心の注意を払って扱わないと、ノイズや信号の劣化を受けやすくなります。Linnではしたがって、本機のphono stageをスイッチまたはソフトウェアでの変更を可能にするのではなく配線接続された回路に設計しました。これは、最適なオーディオ性能を得るため、またこの最も精度の高い回路における信号の劣化を起こす可能性のあるスイッチのような部品を排除するためです。

# セットアップ

## 背面パネル



- 1 POWER: OFF, ON
- 2 名称・表示なし
- 3 RS232: IN, OUT
- 4 IR: 1, 2
- 5 1 ~ 4, MAIN
- 6 RCU
- 7 REMOTE: IN, OUT

電源スイッチ

電源入力

操作コマンドをAKURATE KONTROLへ入力またはAKURATE KONTROLから出力。OUT接続は、AKURATE CDプレイヤーをマルチチャンネルソースとして設定する場合またはLinnのUNIDISKプレイヤーをソースとして追加する場合に使用します。IN接続は、サードパーティ製のコントローラーからAKURATE KONTROLを操作する場合に使用します

赤外線コマンドを補助装置に出力

AKURATE KONTROLがLinn KNEKTシステムの一部となる場合に使用

本機をLinn KNEKTシステムまたは赤外線リピーターに接続

Linn KNEKTシステム内におけるRC5 in/outローカルループ

**8 ANALOGUE AUDIO  
OUTPUTS**

7.1アナログ音声出力1個。SURR（サラウンド）出力は、5.1システム内の2個のサラウンドスピーカーへの接続用。  
SURR BK（サラウンドバック）出力は、7.1システム内の部屋の後方に置く2個の追加スピーカーへの接続用。  
2チャンネルで使用する場合は、FRONT出力（および必要に応じてSUB）のみをご使用ください

**9 TAPE OUT**

DATレコーダーなどの録音機器への接続用アナログ出力1組

**10 ANALOGUE AUDIO INPUTS:  
1 ~ 3/5.1 GROUP**

ステレオアナログ音声入力3個または5.1アナログ音声入力1個

**11 ANALOGUE AUDIO INPUTS:  
4 ~ 6**

ステレオアナログ音声入力3個入力6/PHONOはターンテーブル接続用です

**12 SPDIF: OUT, INPUTS 1 ~ 3**

電気デジタル音声出力1個、電気デジタル音声入力3個

**13 TOSLINK: OUT, INPUTS 1 ~ 3**

光デジタル音声出力1個、光デジタル音声入力3個

**14 EARTH GROUND**

必要に応じてターンテーブルのトーンアームケーブルからアースを取るためのものです。また主電源にアースが取れない場合、本機をアース端子に接続します



背面パネル端子プラグの取り付けや取り外しは、AKURATE CONTROLのスイッチを切ってから行ってください。これは電圧サージが発生して本機や他のAV装置に損傷を与えるのを防止するためです。

## 接続

AKURATE KONTROLのセットアップでは、まず始めにソース、パワーアンプ、およびその他の周辺機器をAKURATE KONTROLに接続します。

1. AKURATE KONTROLとそれに接続するすべてのコンポーネントの電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
2. 前ページの背面パネル図を参照しながら、ソースコンポーネント、パワーアンプ、および使用するすべての通信／操作機器を接続します。
3. AKURATE KONTROLを電源に接続し、背面パネルのスイッチを使って本機に電源を入れます。本機は10秒間の間で自動的に設定が行われます。この間、ディスプレイには3つの点が表示されます。
4. 3つの点の表示が消えるのを⌚を待って、次に前面パネルカリモコンの⌚キーを押します。

設定作業では主に、AKURATE KONTROLを使用目的に合わせて設定します。これはセットアップメニューを使用して行います。本機の設定方法は、本章後続部分に説明しています。

## セットアップメニュー

セットアップメニューにより、AKURATE KONTROLに接続するすべてのソース、システム内のスピーカー、およびその他の機器に合わせてAKURATE KONTROLを設定できます。本機の特長を生かすため、是非時間をかけて本機の設定を正しく行ってください。

セットアップメニューは5項目あり、以下のMAIN MENU（メインメニュー）から呼び出します。

### SPEAKER SETUP（スピーカー設定）

システム内のスピーカーの数、サイズ、距離に合わせてAKURATE KONTROLを設定し、音量レベルの校正を行います。

### SOURCE SETUP（ソース設定）

本機のソースを設定。

### AUDIO SETUP（音声設定）

本機の音声出力の設定。

### GENERAL SETUP（一般設定）

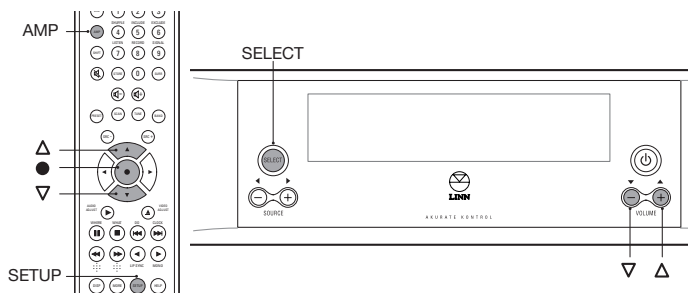
本機の一般設定を調整。

### LINN DISC SETUP（Linnディスク設定）

このメニューは、LinnのAKURATE CDプレイヤーをマルチチャンネルソースとして設定する場合、またはUNIDISKプレイヤーを追加する場合に使用します（14ページをご参照ください）。

さらに、AKURATE KONTROLには、上記のメニューで設定された本機器の設定内容を保存したり、工場出荷時の状態に戻したりするためのINSTALLER MENU（インストーラーメニュー）があります。詳しい情報は、13ページの「*Installer menu*,（インストーラーメニュー）」をご覧ください。

## セットアップメニューの使用



セットアップメニューを呼び出す：

リモコンを使用して本機の設定を行う場合、

- リモコンのAMPを押してからSETUPを押します。

前面パネルを使用して本機の設定を行う場合、

- MAIN MENU / SPEAKER SETUPがディスプレイに表示されるまで前面パネルのSELECTを押し続けます。

MAIN MENU  
⇄ SPEAKER SETUP

メニュー、オプション間での選択を行う：

- リモコンか前面パネルの▲/▼を使います。

選択決定する：

- リモコンの●または前面パネルのSELECTを押します。

セットアップメニューから出る：

- リモコンのSETUPを押すか、メインメニューからEXITを選択します。(変更が完了すると、変更内容を保存するかどうかを聞かれます)。

## Speaker setup (スピーカー設定)

### SIZE (サイズ)

SPEAKER SIZE (スピーカーサイズ) サブメニューを呼び出します。

お使いのシステムの (サブウーファーを除く) 全てのスピーカーについて、スピーカーがLARGE、SMALLのどちらであるのかを本機に知らせる必要があります。これらの用語は、スピーカーの周波数特性に関するものであり、物理的なサイズが問われるわけではありません。LARGEとは、非常に低音域から非常に高音域までの周波数レスポンスが充分なスピーカーを指します。SMALLとは、非常に低音域の周波数レスポンスが充分でないスピーカーを指します (通常、80 Hz未満の周波数レスポンスが充分でないスピーカーをSMALLと呼びます)。

お持ちのスピーカーが非常に低音域の周波数にレスポンスするかどうか不明の場合、スピーカーメーカー提供の情報やメーカー公表の情報をご参照になるか、お買い上げの販売店にお問合せください。

### SMALL FREQUENCY (制限低音域)

低音域が制限されるスピーカー (SMALL) の動作周波数を選択します。選択したオプションより低い音声信号内の周波数は、サブウーファーを使用している場合はサブウーファーに、使用していない場合はフルレンジ (LARGE) スピーカーのいずれかに振り分けて出力されます。(人の耳は低周波数の音源の位置を検知できないため、スピーカーのいくつかをSMALLに設定していても音楽や映画の楽しみには影響ありません。)

オプション：40 Hz, 60 Hz, 80 Hz, 100 Hz, 120 Hz

デフォルト設定：80 Hz

### FRONT (フロント)

大型 (フルレンジ) のフロントスピーカーを使用しているとき、LARGEに設定します。

低音域が制限されたフロントスピーカーを使用している場合、SMALLに設定します。

デフォルト設定：LARGE

#### CENTRE (センター)

大型 (フルレンジ) のセンタースピーカーを使用しているとき、**LARGE**に設定します。

低音域が制限されたセンタースピーカーを使用している場合、**SMALL**に設定します。

センタースピーカーを使用していない場合、**NONE**に設定します。

デフォルト設定: **NONE**

#### SURROUND (サラウンド)

大型 (フルレンジ) のサラウンドスピーカーを使用しているとき、**LARGE**に設定します。

低音域が制限されたサラウンドスピーカーを使用している場合、**SMALL**に設定します。

サラウンドスピーカーを使用していない場合、**NONE**に設定します。

デフォルト設定: **NONE**

#### SURROUND BACK (サラウンドバック)

大型 (フルレンジ) のサラウンドバックスピーカーを使用しているとき、**LARGE**に設定します。

低音域が制限されたサラウンドバックスピーカーを使用している場合、**SMALL**に設定します。

サラウンドバックスピーカーを使用していない場合、**NONE**に設定します。

デフォルト設定: **NONE**

#### SUBWOOFER (サブウーファー)

サブウーファーを接続している場合、**YES**に設定します。

サブウーファーを接続していない場合、**NO**に設定します。

デフォルト設定: **NO**

**SAVE**を選択して変更を保存し、**SPEAKER SETUP** (スピーカー設定)メニューに戻ります。

**BACK**を選択し、変更を保存せずに**SPEAKER SETUP** (スピーカー設定)メニューに戻ります。

**EXIT**を選択し設定を終了します (変更を行って**SAVE**を選択していない場合、変更内容を保存するかどうかを聞かれます)。

#### DISTANCE (距離)

**SPEAKER DISTANCE** (スピーカー距離) サブメニューを呼び出します。

#### DISTANCE UNITS

スピーカー距離測定単位を選択します。

オプション: **FEET, METRES**

デフォルト設定: **FEET**

#### SPEAKER DISTANCE (スピーカー距離)

システム内に設置されたすべてのスピーカーからのサウンドが確実に同時に届くようにするために、リスニングポジションから各スピーカーまでの距離を**AKURATE KONTROL**に入力します。**AKURATE KONTROL**は、各スピーカーに適切な遅延を与えます。

お使いのシステムのすべてのスピーカーに対して、リスニングポジションからの距離を設定します。

設定範囲: **0フィート(0.0 m)~27フィート(8.2 m)**

デフォルト設定: **6フィート(1.8 m)**

**SAVE**を選択して変更を保存し、**SPEAKER SETUP** (スピーカー設定)メニューに戻ります。

**BACK**を選択し、変更を保存せずに**SPEAKER SETUP** (スピーカー設定)メニューに戻ります。

**EXIT**を選択し設定を終了します (変更を行って**SAVE**を選択していない場合、変更内容を保存するかどうかを聞かれます)。

## CALIBRATION (校正)

SPEAKER CALIBRATION (スピーカー校正) サブメニューを呼び出します。

### SPEAKER CALIBRATION (スピーカー校正)

スピーカー校正機能を使用して、各スピーカーからの音量レベルがリスニングポジションで同一レベルになるようにすることができます (2チャンネルシステムにはスピーカー校正は必要ありません)。耳に頼るかSPL (音圧レベル) メーターを使用して校正することができます。

スピーカー校正手順：

- パワーアンプとサブウーファー (接続している場合) のスイッチを入れます。
- **CALIBRATION LEVEL**を選択します。聞こえる信号がちょうどよいリスニングレベルになる (または、SPLメータであらかじめ設定したレベルに達する) ように校正基準レベルを調整します。
- **START**を選択します。信号はシステム内に設置されたスピーカー間を時計回りに移動して、ディスプレイに表示されます。
- 信号が他のスピーカーより大きい音または小さい音のスピーカーに到達したら、リモコンの△/▽キーを使って、必要に応じて音量を調整します。△/▽キーを離して数秒すると、信号は時計方向の次のスピーカーに移動します。
- スピーカーの校正を停止するには、リモコンの**SETUP**を押します。

設定範囲：-15 dB ~ 15 dB (0.5刻み)

デフォルト設定：0 dB

**SAVE**を選択して変更を保存し、**SPEAKER SETUP** (スピーカー設定) メニューに戻ります。

**BACK**を選択し、変更を保存せずに**SPEAKER SETUP** (スピーカー設定) メニューに戻ります。

**EXIT**を選択し設定を終了します (変更を行って**SAVE**を選択していない場合、変更内容を保存するかどうかを聞かれます)。

**BACK**を選択し、**MAIN MENU** (メインメニュー) に戻ります。

**EXIT**を選択し、設定を終了します。

### Source Setup (ソース設定)

AKURATE CONTROLに接続している各ソースコンポーネントの下記設定を手順に従って完了してください。



ソースコンポーネントに接続した背面パネル入力を選択します。

オプション：SPDIF 1 ~ 3, TOS (TOSLINK) 1 ~ 3, ANALOG 1 ~ 6, ANALOG GROUP, KNEKT

注記：

デフォルト設定では、ANALOG 1はAKURATE CDプレイヤーに、ANALOG 6はターンテーブルに割り当てられています。

ANALOG GROUPでは、ANALOG1、2、3入力が使用されるため、ソースをANALOG GROUPに割り当てた場合、ANALOG 1、2、3には割り当てることができません。逆に、ソースをANALOG1、2、3のいずれかに割り当てた場合、ANALOG GROUPに割り当ててはできません。

KNEKTオプションは、General Setup (一般設定) でKNEKTの項目が**LOCAL ROOM**に設定されていなければ使用できません。(11ページをご参照ください)

特定の背面パネル入力を使いたくない場合、Typeを**NONE**に設定します (次ページ参照)。これで、前面パネルまたはリモコンを使用してソースを選択すると、**NONE**に設定された入力が表示されなくなります。

## NAME (名称)

選択時にディスプレイに表示するソースの名称を付けることができます。

点滅文字を変更する：

- リモコンまたは前面パネルの ▲/▼ を繰り返し押し続けたり、

次の文字を使用することができます：A～Z、0～9、スペース。

次の文字か前の文字に移動する：

- ▶ または ◀ キーを押します。

名称を入力し終わったら、● が **SELECT** を押します。

デフォルト設定：(背面パネルの端子名、'AKURATE CD' または 'PHONO<フォノ>')

注記：

名称の長さは最長12文字までです。

## TYPE (タイプ)

ソースのタイプを選びます。リン製ラーニングリモコンに表示されるタイプです。タイプのほとんどは、AKURATE KONTROL同梱のリモコンでソースキーとなっています。

オプション：DVD、CD、AUX (補助)、TUNER、TV、DIGITAL、PHONO、SAT (SATELLITE)、NONE

デフォルト設定：AUX (CDに設定された入力ANALOG 1、PHONOに設定されたANALOG 6、NONEに設定されたANALOG GROUPを除く。)

## VOLUME OFFSET (音量微調整)

Volume Offsetは、他のソースと比較しながらソースの音量を調節します。たとえば、同じ音量設定で再生したときにCDプレイヤーよりラジオ放送の方が小さい音を出す場合、Volume Offsetの調整を行います。

設定範囲：-15 ~ 15 (0.5刻み)。音量微調整値は0にはなりません。

デフォルト設定：0

## SAT (衛星) SOURCE - デジタルソース専用

ソースが衛星放送、ケーブルテレビ受信機の場合、**YES**に設定してください。**YES**に設定することによって、受信機のチャンネル変更の際にも音声信号が安定します。ソースが衛星放送、ケーブルテレビ受信機でない場合、**NO**に設定してください。

オプション：YES, NO

デフォルト設定：NO

## SURROUND CHANNELS (サラウンドチャンネル)

ANALOG GROUPソースを設定しているかLinn UNIDISKプレイヤーを追加して7.1スピーカー設置の場合、5.1チャンネルで音声ソースを聴く際に、サイドサラウンドスピーカーまたはバックサラウンドスピーカーのどちらを使用するかを選択できます。

**SURROUND**に設定し、お使いのサイドサラウンドスピーカーにサラウンド音声信号を送ります。

**SURROUND BACK**に設定し、お使いのバックサラウンドスピーカーにサラウンド音声信号を送ります。

デフォルト設定：**SURROUND** (サラウンド)

**SAVE**を選択して変更を保存し、SOURCE SETUP (ソース設定)メニューに戻ります。

**BACK**を選択し、変更を保存せずにSOURCE SETUP (ソース設定)メニューに戻ります。

EXITを選択し設定を終了します（変更を行ってSAVEを選択していない場合、変更内容を保存するかどうかを聞かれます）。

BACKを選択し、MAIN MENU（メインメニュー）に戻ります。

EXITを選択し、設定を終了します。

### Audio Setup（音声設定）


#### VOLUME RATE（音量レート）

音量キーを押した際のAKURATE KONTROL音量の変更速度を設定します。

設定範囲：1/10（最もゆるやか）～ 10/10（最も急激）

デフォルト設定：8/10

#### MUTE RATE（ミュートレート）

を押すかソースが変更された場合に、AKURATE KONTROLが音量をミュートまたはミュートを解除する速度を設定します。

設定範囲：1/10（最もゆるやか）～ 10/10（最も急激）

デフォルト設定：8/10

#### VOLUME LIMIT（音量制限）

AKURATE KONTROLの最大音量レベルを設定します。

設定範囲：0 ～ 100（0.5刻み）

デフォルト設定：100

#### VOLUME PRESET（音量プリセット）

スタンバイから起動した際のAKURATE KONTROLの音量レベルを設定します。これは、設定されたVolume Limitより高く設定することはできません（上記参照）。

設定範囲：0 ～ 100（0.5刻み）

デフォルト設定：40

### MIDNIGHT MOVIE（深夜映画モード）

LinnのUNIDISKプレイヤーまたは他のDVDプレイヤーで使用。

DVDビデオでドルビーデジタル信号を圧縮し音量を落とすことができる機能です。爆発シーンなどで瞬間的に増す音量を抑えます。DVDビデオの再生時、MIDNIGHT MOVIE ON/OFFが前面パネルディスプレイに表示されるまでリモコンのSURRを押し続け、次にSURRを押ししてオン/オフを切り替えます（20ページをご参照ください）。

オプション：LOW（最小効果）、MEDIUM, HIGH（最大効果）

デフォルト設定：LOW

### DOLBY PRO LOGIC II MUSIC（ドルビープロロジックIIミュージック）

Dolby Pro Logic IIは、ステレオ音声信号を5チャンネル音声信号に変換する音声信号処理アルゴリズムです。

Dolby Pro Logic II Musicは、特に音楽に適したDolby Pro Logic IIのモードです。この項目で利用できるユーザーが調整可能な3つのパラメーターがあります。

#### CENTRE WIDTH（センター幅）

このパラメーターでは、センタースピーカーとフロントスピーカー間の音声信号の調整を可能にします。

「0」に設定すると、センターチャンネルへの音声信号すべてがセンタースピーカーに送られます。

「3」にすると、センターチャンネル信号の一部がフロントスピーカーにも送られます。

「7」にすると、センターチャンネル信号のすべてが、フロント左右スピーカーに等分に分配されます。

設定範囲：0 ～ 7

デフォルト設定：3

### PANORAMA CONTROL (パノラマコントロール)

この機能をONに設定すると、フロントスピーカーの音声信号をサラウンドスピーカーにも拡張して出力します。これにより、サウンドに「包まれる」ような効果が生じます。

オプション：ON, OFF

デフォルト設定：OFF

### DIMENSION CONTROL (ディメンションコントロール)

このパラメーターでは、フロントとリアのスピーカー間のバランスを変えることができます。プラス値にするとサウンドがフロントへ、マイナス値にするとリアへ移動します。サラウンドスピーカーからのサウンドが広がりすぎている、また強すぎると感じられたら、「前へ」移動してバランスを調整します。同様に、フロントスピーカーからの録音が強すぎる場合、サウンドを「後ろへ」移動して臨場感を高めることができます。

設定範囲：-3 (最も後) ~ 3 (最も前)

デフォルト設定：0 (中間)

SAVEを選択して変更を保存し、AUDIO OPTIONS (音声オプション) メニューに戻ります。

BACKを選択し、変更を保存せずにAUDIO OPTIONS (音声オプション) メニューに戻ります。

EXITを選択し設定を終了します (変更を行ってSAVEを選択していない場合、変更内容を保存するかどうかを聞かれます)。

SAVEを選択して変更を保存し、MAIN MENU (メインメニュー) に戻ります。

BACKを選択し、変更を保存せずにMAIN MENU (メインメニュー) に戻ります。

EXITを選択し設定を終了します (変更を行ってSAVEを選択していない場合、変更内容を保存するかどうかを聞かれます)。

### General Setup (一般設定)

#### DISPLAY INTENSITY (ディスプレイ輝度)

前面パネルディスプレイの明るさを設定します。

オプション：LOW, MEDIUM, HIGH

デフォルト設定：MEDIUM

#### DISPLAY CONTENT (表示内容)

通常の操作時に本機の前面パネルに表示させたい情報を設定します。

オプション：LAST USED\*, SOURCE AND VOLUME, VOLUME, SOURCE

デフォルト設定：SOURCE AND VOLUME

\* ソース変更の場合、前面パネルに新しいソースが表示され続けます。音量変更の場合、音量レベルが表示され続けます。

#### DISPLAY TIMEOUT (ディスプレイタイムアウト)

前面パネルがDisplay Content (上記参照) の表示に戻るまでに、新しい音量やソースの情報が表示される時間を設定します。

設定範囲：1 SEC. ~ 10 SEC.

デフォルト設定：2 SEC.

#### SLEEP TIMEOUT (スリープタイムアウト)

前面パネルリモコンでキーを押してから、前面パネルがスリープモード (つまり3つの点を表示する) に入るまでの時間を設定します。

オプション：NEVER SLEEP, IMMEDIATE, 30 SEC., 5 MINS.

デフォルト設定：NEVER SLEEP

#### SELECTION TIMEOUT (選択タイムアウト)

ソース変更時に、本機がソースを選択するのにかかる時間を設定します。

設定範囲：1 SEC. ～ 10 SEC.

デフォルト設定：2 SEC.

#### STARTUP SOURCE (スタートアップソース)

スタンバイから起動した際に本機が選択するソースを設定します。

オプション：LAST USED, NONE, (ソース入力のいずれか)

デフォルト設定：LAST USED

#### STANDBY RECORD FROM (スタンバイレコード)

AKURATE KONTROLがスタンバイモードでも、AKURATE KONTROLを経由してソースコンポーネントからレコーディング装置への録音が可能です。\*  
AKURATE KONTROLがスタンバイ状態のとき、どのソースを選択するのかを設定します。

オプション：LAST USED, NONE, (ソース入力のいずれか)、KNEKT\*\*

デフォルト設定：LAST USED

\* レコードパス設定について詳細は、21ページの「レコーディング機能」の項をご参照ください。

\*\* KNEKT (下記参照)をLOCAL ROOMに設定している場合に使用することができます。

#### KNEKT

Linn KNEKTマルチルームシステムでAKURATE KONTROLを使用する場合、適切な設定を選択します。AKURATE KONTROLの使用がKNEKTシステムではない場合、NONEを選択します。

オプション：NONE, MAIN ROOM, LOCAL ROOM, INTERSEKT

デフォルト設定：NONE

#### RCU/IR SOCKET (RCU/IR端子)

背面パネルのRCUと印のついた端子の使用を設定します。

オプション：RCU\* (KNEKTルームコントロールユニット)、IR (赤外線リピーター)

デフォルト設定：RCU

\* Linn KNEKTシステム専用。

#### PRODUCT IR (製品IR)

前面パネル赤外線レーザーを有効にしたり、無効にしたりします。

オプション：ENABLED, DISABLED

デフォルト設定：ENABLED

#### RS232 SETUP (RS232設定)

RS232 SETUPサブメニューを呼び出します。

RS232 Setupサブメニューは、AKURATE KONTROLがRS232を使用できる他の製品 (例えば他社製コントローラー) と通信する場合に使用します。

#### BAUD RATE (ボーレート)

ご使用のRS232プロトコルに合うボーレートを設定します。

設定範囲：4800 ～ 230400 (設定は9種類)

デフォルト設定：9600

#### PARITY (パリティ)

ご使用のRS232プロトコルに合うパリティを設定します。

オプション：EVEN, ODD, NONE

デフォルト設定：EVEN

#### DATA BITS (データビット)

ご使用のRS232プロトコルに合うデータビットを設定します。

オプション：7, 8

デフォルト設定：7

### STOP BITS (ストップビット)

ご使用のRS232プロトコルに合うストップビットを設定します。

オプション：1, 2

デフォルト設定：1

### RS232 EVENTS (RS232 情報通信)

ENABLEDに設定すると、本機の内部ステータス情報をRS232データ対応の外部機器に送信します。

オプション：ENABLED, DISABLED

デフォルト設定：DISABLED

SAVEを選択して変更を保存し、GENERAL SETUP (一般設定) メニューに戻ります。

BACKを選択し、変更を保存せずにGENERAL SETUP (一般設定) メニューに戻ります。

EXITを選択し設定を終了します (変更を行ってSAVEを選択していない場合、変更内容を保存するかどうかを聞かれます)。

### ANALOG 6 TYPE

この項目は、内蔵phono stage (6/PHONO入力に接続) の設定を表示するものです。PHONO MM (moving-magnet)、PHONO MC (moving-coil)、LINE LEVELのいずれかが表示されます。内蔵phono stageが再設定された場合、表示の設定は自動的に更新されます。

SAVEを選択して変更を保存し、MAIN MENU (メインメニュー) に戻ります。

BACKを選択し、変更を保存せずにMAIN MENU (メインメニュー) に戻ります。

EXITを選択し設定を終了します (変更を行ってSAVEを選択していない場合、変更内容を保存するかどうかを聞かれます)。

### Linnディスク設定

このメニューは、LinnのAKURATE CDプレイヤーをマルチチャンネルソースとして設定する場合、またはUNIDISKプレイヤーを追加する場合に使用します (14ページおよび16ページをご参照ください)。

### ANALOG SOURCE (アナログソース)

オプション：ANALOG GROUP, ANALOG 1 ~ 6, NONE

デフォルト設定：ANALOG GROUP

### DIGITAL SOURCE (デジタルソース)

オプション：SPDIF 1 ~ 3, TOS (TOSLINK) 1 ~ 3, NONE

デフォルト設定：TOS 1

SAVEを選択して変更を保存し、MAIN MENU (メインメニュー) に戻ります。

BACKを選択し、変更を保存せずにMAIN MENU (メインメニュー) に戻ります。

EXITを選択し設定を終了します (変更を行ってSAVEを選択していない場合、変更内容を保存するかどうかを聞かれます)。

注記：

AKURATE CDプレイヤーをDiscソースとして使用している場合、前面パネルに表示されるソース名は'AKURATE CD'ではなく'LINN DISC'となります。

LINNのAKURATE CDプレイヤーまたはUNIDISKプレイヤーが付属のRS232コードでAKURATE KONTROLに接続されていない場合 (14ページおよび16ページをご参照ください)、前面パネルに使用できるソースとして'LINN DISC'が表示されません。

使用したい入力オプションの中に表示されない場合、すでにその入力はソースに割り当てられています。この場合、Source Setup (ソース設定) メニューで必要とする背面パネル入力を選択し、TypeをNONEに設定して変更を保存します。次にUNIDISK Sourceメニューを呼び出すと、新しい入力を使用可能となります。

## Installer Menu (インストーラーメニュー)

インストーラーメニューを呼び出す：

- リモコンの**AMP**を押した後**SETUP**を押し続けるか、前面パネルの**SELECT**を押し続け(約5秒間)、ディスプレイに「INSTALLER MENU」を表示します。



### SAVE AS INSTALLER (インストーラーとして保存)

AKURATE KONTROLの設定後、この項目を選択すると設定を保存できます。AKURATE KONTROLの設定が変更されたときにはいつでも、保存されたインストーラー設定に戻すことができます(以下を参照してください)。本機のセットアップについて行った変更を保存したい場合は、この項目を選択すれば保存され、既存のインストーラー設定を上書きします。

### RESTORE INSTALLER (インストーラー設定に戻す)

AKURATE KONTROLのセットアップについて行った変更を保存したくない場合、このオプションを使用して、インストーラー設定に戻してください。

### RESTORE FACTORY (出荷時のデフォルト設定に戻す)

このオプションを使用して、すべてのセットアップメニューをもとのデフォルト設定に戻すことができます。

### H8 SOFTWARE VERSION (H8ソフトウェアのバージョン)

本機にインストールされたソフトウェアのバージョンを表示します。

## AKURATE KONTROLをLinn AKURATE CDプレイヤーと接続して使用する

AKURATE CDプレイヤーを2チャンネル(ステレオ)ソースとして使用する場合、AKURATE CDプレイヤーのFRONT AまたはBのアナログライン出力をAKURATE KONTROLの1/FRONT ANALOGUE AUDIO INPUTSに接続してください(AKURATE KONTROLは、AKURATE CDプレイヤーをこの入力に接続するよう工場出荷時に設定されています)。

AKURATE CDプレイヤーをマルチチャンネルソースとしてAKURATE KONTROLに接続して使用すると、次のようなメリットがあります。

- AKURATE KONTROLはディスクのオーディオストリームに適したサラウンドサウンドフォーマットを選択します。
- CD再生時に、Dolby Pro Logic IIサラウンドサウンドフォーマットを選択できます。

AKURATE CDプレイヤーをAKURATE KONTROLと接続して使用する場合、下記の説明に従ってください。

- 全機器のスイッチを切ります。
- 接続：AKURATE CDプレイヤーのFRONT AまたはB、SURR、CENTRE、およびSUBライン出力端子をAKURATE KONTROLの5.1 GROUP入力(RCAフォノ-フォノリードが6本必要となります)に接続します。
- AKURATE KONTROLのRS232 OUTのRS232製品接続コード(AKURATE KONTROL付属)をAKURATE CDプレイヤーのRS232 INに接続します。
- AKURATE KONTROLのREMOTE OUTをAKURATE CDプレイヤーのREMOTE IN(RCAフォノ-フォノリードが必要になります)に接続します。
- 全機器のスイッチを入れます。

6. AKURATE CDプレイヤーでUser Options (ユーザーオプション) を入力します。  
設定：  
Front Panel IR Commandsを**IGNORED**、  
Channel Setupを**5.1 CHANNEL**、  
RS232 Eventsを**ENABLED**、  
RS232 Baud Rateを**9600**に設定します。
7. User Options (ユーザーオプション) を終了します。
8. AKURATE KONTROLのSpeaker Setup (スピーカー設定) メニューに入ります。お使いのシステムのスピーカーに適したメニューの設定を行います。
9. Source Setup (ソース設定) 画面に入ります。ANALOG 1、2、3を**NONE**に設定します。必要に応じてANALOG GROUPを選択してSURROUND CHANNELSの設定を変更します (9ページの「SURROUND CHANNELS (サラウンドチャンネル)」の項をご参照ください)。以上の設定を保存します。
10. General Setup (一般設定) 画面に入ります。
11. RS232 Setup (RS232設定) サブメニューを呼び出します。  
設定：  
Baud Rateを**9600**  
Parityを**EVEN**  
Data Bitsを**7**  
Stop Bitsを**1**  
RS232 Events (いずれかの設定)  
以上の設定を保存します。
12. Linn Disc Setup (Linnディスク設定) メニュー画面に入り、ANALOG SOURCEを**ANALOG GROUP**に設定します。  
設定を保存し、セットアップ画面を終了します。

## AKURATE KONTROLをLinn UNIDISKプレイヤーと接続して使用する

Linn UNIDISKプレイヤーをAKURATE KONTROLに接続して使用すると、次のようなメリットがあります。

- UNIDISKプレイヤーがディスクを読み込み、Linn DiscソースがAKURATE KONTROLでソースとして選択されると、AKURATE KONTROLは読み込まれたディスクの必要な入力に自動的に切り替わります。
- AKURATE KONTROLはディスクのオーディオストリームに適したサラウンドサウンドフォーマットを選択します。

Linn UNIDISKプレイヤーをAKURATE KONTROLと接続して使用する場合、下記の説明に従ってください。

1. 全機器のスイッチを切ります。
2. 接続：
  - UNIDISKプレイヤーのFRONT AまたはB、SURR、CENTRE、およびSUBライン出力端子をAKURATE KONTROLの5.1 GROUP入力 (RCA フォノ-フォノリードが6本必要となります) に接続します。
  - UNIDISKプレイヤーのTOSLINK出力またはSPDIF出力をAKURATE KONTROLのTOSLINK入力またはSPDIF入力のいずれかに接続します (Toslinkリードまたはデジタル音声リードが必要となります)。
3. UNIDISKプレイヤーから使用するビデオ出力をご使用のディスプレイ装置へ接続します。
4. AKURATE KONTROLのRS232 OUTのRS232製品接続コード (AKURATE KONTROL付属) をUNIDISKプレイヤーのRS232 INに接続します。
5. AKURATE KONTROLのREMOTE OUTをUNIDISKプレイヤーのREMOTE IN (RCAフォノ-フォノリードが必要となります) に接続します。
6. 全機器のスイッチを入れます。

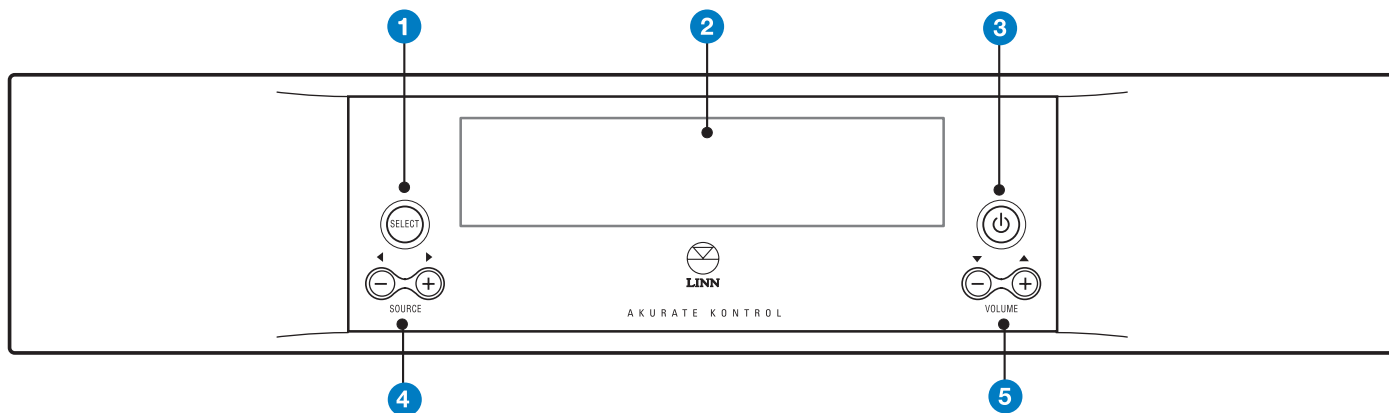
7. UNIDISKプレイヤーでUser Options (ユーザーオプション) を入力します。  
設定：  
Front Panel IR Command/Enable IR Commandsを**IGNORED**または**OFF**、  
Baud Rateを**9600**に設定します。  
RS232 Events/Enable RS232 Eventsを**ENABLED**または**ON**、  
(また、UNIDISK SCではKnekt Modeを**SOURCE**に設定します。)
8. User Options (ユーザーオプション) を終了します。
9. AKURATE KONTROLのSpeaker Setup (スピーカー設定) メニューに入ります。お使いのシステムのスピーカーに適したメニューの設定を行います。
10. Source Setup (ソース設定) 画面に入ります。UNIDISKに接続して使用したいソース入力を**NONE**に設定します。以上の設定を保存します。
11. General Setup (一般設定) メニューに入ります。
12. RS232 Setup (RS232設定) サブメニューを呼び出します。  
設定：  
Baud Rateを**9600**  
Parityを**EVEN**  
Data Bitsを**7**  
Stop Bitsを**1**  
RS232 Events (いずれかの設定)  
以上の設定を保存します。
13. Linn Disc Setup (LINNディスク設定) メニューに入りANALOG SOURCEおよびDIGITAL SOURCEの設定を適切に変更します (13ページの「Linn Disc setup, LINNディスク設定」の項をご参照ください)。
14. Source Setup (ソース設定) 画面に入ります。UNIDISKプレイヤーで使っている背面パネル入力を選択し、SAT SOURCEとSURROUND CHANNELS設定を必要に応じて調整します (8ページを参照)。  
設定を保存し、セットアップ画面を終了します。

## 前面パネルとリモコン

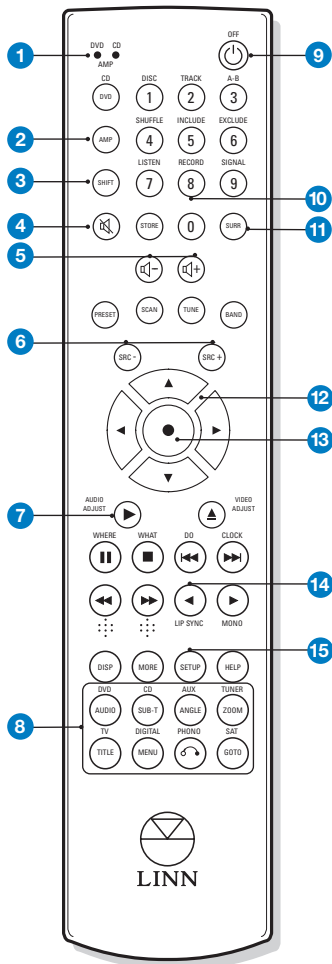
### 前面パネル

前面パネルのディスプレイには、その時点における音声に関する情報が表示されます。現在の音量、現在のソースのいずれかあるいは両方が入力音声信号と音声

処理フォーマットとともに表示されます。またセットアップメニューと、その時点の作動内容により他の情報も表示されます。



- 1 **SELECT** オプションおよび特定のコマンドを選択/実行しますセットアップメニューを呼び出します
- 2 前面パネルのディスプレイ
- 3 **⏻** スタンバイモードのオン/オフを切り替えます
- 4 **SOURCE** -/+、◀/▶ ソースを変更し、設定を調整します
- 5 **VOLUME** -/+、▽/△ 音量を調整したり、セットアップメニューで設定を調整します



## リモコン

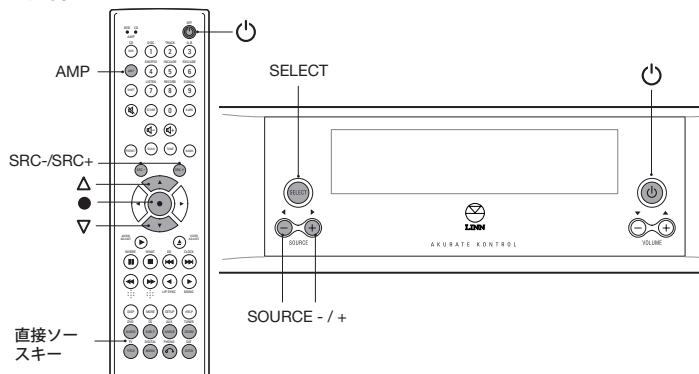
- 1 LED キーを押しているときのリモコンの状態を表示します
- 2 AMP リモコンをAmp（アンプ）モードにします（青色で表示された機能を使用できます）
- 3 SHIFT RECORD、OFFの各機能を使用可能にします
- 4 音声のミュート（消音）/ミュート解除を切り替えます
- 5 / 音量レベルを調整します
- 6 SRC- / SRC+ ソースを選択します
- 7 AUDIO ADJUST スピーカーのバランスとトリムを調整します。音声設定をリセットします
- 8 直接ソースキー ソースを直接選択するキーです
- 9 , OFF スタンバイモードのオン/オフ切り替え。弊社の使用可能な全機器に「オフ」（スタンバイ状態になる）コマンドを送ります
- 10 RECORD レコードパスの設定/変更を行います
- 11 SURR サラウンドサウンドのフォーマットを選択します。深夜映画モードのオン/オフを切り替えます
- 12 / / / セットアップメニューの項目を選び、設定を調整します
- 13 オプションおよび特定のコマンドを選択/実行します
- 14 LIP SYNC Lip Sync遅延機能にアクセスします
- 15 SETUP セットアップメニューの開始と終了

リモコン上の上記以外のキーおよび機能は本機では使用しませんが、弊社の他製品で使用できます。

### 注記:

AKURATE KONTROLがリモコンキーでうまく操作できない場合、リモコンがAmpモードになっていない可能性があります。この場合、リモコンのAMPキーを押してください。

## 操作



### スタンバイキー

スタンバイモードと操作モードを切り替える：

- 前面パネルまたはリモコンの  を押します。

### Ampモード

次の機能を使用するには、リモコンをAmpモードにしておく必要があります。

- 直接ソース選択（例：CDキーを押すことによってCDソースを選択する）
- バランスまたはスピーカトリムの調整
- Lip sync遅延の調整

リモコンをAmpモードにするには、リモコンのAMPキーを押します。他の全ての機能については、リモコンをAmpモードにする必要はありません。

## ソースの選択

聴きたいソースを選択する：

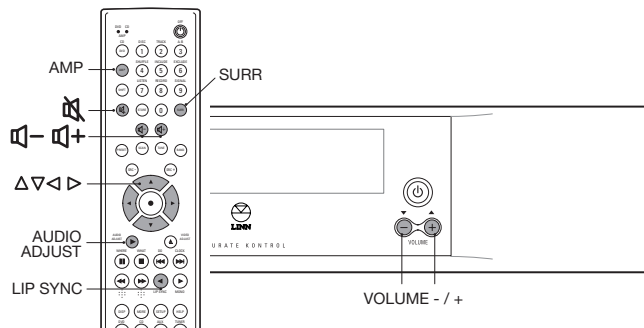
次の手順を行います。

- 前面パネルの**SOURCE** -/+キーあるいはリモコンの **SRC** -/+キーを押し続けるか、あるいは繰り返し押します。すべての使用可能なソースの中から選択できるようになります。
- 前面パネルディスプレイに希望のソースが表示されたら、キーから手を離し、前面パネルの**SELECT**を押すか、本機が自動的にソースを選択するのを待ちます。

下記の方法でも選択できます(リモコンはAmpモードにしておく必要があります)

- リモコンの該当するソースタイプキー（例：**DVD**や**CD**）を押します。LinnのAKURATE CDプレイヤーの場合、「**CD**」を押します。Linn Discソースの場合、「**DVD**」を押します。
- $\Delta$  /  $\nabla$  キーを使って、使用可能なソースの中から使用するソースを選択します。
- 前面パネルディスプレイに希望のソースが表示されたら、 $\bullet$  を押すか、本機が自動的にソースを選択するのを待ちます。

## 音声の調整



## 音量

音量を調節する：

- 前面パネルの**VOLUME**  $-/+$ またはリモコンの  $\llcorner/\lrcorner$  を繰り返し押すか押し続けます。

音量は0.5刻みで0～100の範囲で選択できます。

音量のミュート/ミュート解除を行う

- リモコンの  $\text{M}$  を押します。

バランス (リモコンはAmpモードにしておく必要があります)

全スピーカーのバランスを調整する (センタースピーカーおよびサブウーファーを除く)

- リモコンの**AUDIO ADJUST** (調整) を押します。  
前面パネルのディスプレイにBALANCEと表示されます。
- バランスを右へ動かすには  $\triangleright$  を繰り返し押すか押し続け、左へ動かすには  $\triangleleft$  を使います。

バランス範囲は、左へ10段階、右へ10段階です。0がニュートラルとなります。

スピーカートリム (リモコンはAmpモードにしておく必要があります)  
この機能は、3個以上のスピーカーを使用しているシステム用です。

音楽を聴いたりDVDビデオを見ている際に、センター、サラウンド、バックサラウンドスピーカーやサブウーファーの音量レベルを、他のスピーカーに影響を与えずに調整したい場合があるかもしれません。これはスピーカー音量トリムを調整して行います。

スピーカー音量のトリムを行う：

- リモコンの**AUDIO ADJUST** (調整) を繰り返し押し、前面パネルディスプレイに調整したいスピーカーを表示させます。
- 前面パネルかリモコンの  $\triangleleft/\triangleright$  を繰り返し押すか押し続けて、スピーカートリムの量を増減します。

音量トリム範囲は-10.0～10.0 (0.5刻み) です。ニュートラルは0です。

注記：

**AUDIO ADJUST** を繰り返し押ししたときに表示されるスピーカーは、システムで使用しているスピーカー数とその時点で選択されているサラウンドサウンドフォーマットによって異なります。

**Lip Sync**遅延 (リモコンはAmpモードにしておく必要があります)  
LinnのUNIDISKプレイヤーまたは他のDVDプレイヤーで使用。

DVDビデオによっては、動き (例：俳優の口の動き) が音声より遅れる場合があります。この現象は、本機のLip Sync遅延機能で音声映像と同期化するまで遅らせることによって修正することができます。

**Lip Sync**遅延の調整

- リモコンの**LIP SYNC**を押します。
- $\triangle$  を繰り返し押すか押し続けると音声信号がより遅延し、 $\nabla$  を繰り返し押すか押し続けると遅延が減少します。これを映像と音声同期化するまで行います。

Lip Sync遅延の範囲は、10ミリ秒刻みで、0～250ミリ秒です。

注記：

Lip Sync遅延は、デジタルソースにのみ使用でき、DTS音声信号では使用できません。

### サラウンドサウンドのフォーマット

優れたオーディオ体験を楽しんでいただくために、AKURATE KONTROLは幅広いサラウンドサウンドフォーマットに対応しています。

### サラウンドサウンドのフォーマットを変更する：

- リモコンの**SURR**を繰り返し押して、前面パネルのディスプレイに希望のフォーマットを表示させます。

使用できるサラウンドサウンドのフォーマット、およびそれぞれの概要は以下のとおりです。

サラウンドサウンドのフォーマット	内容
Dolby Digital	DVDビデオなどのディスクに5.1チャンネルの音声信号を保存する規格
Dolby Digital EX	サラウンドスピーカーに伝えられるDolby Digital 5.1音声信号を変換して、7.1音声用の2個のバックスピーカーにまで拡張します
Dolby Pro Logic II*	サラウンドサウンドではない音声信号をサラウンドサウンド5.0信号に変換します
Dolby Pro Logic II Music*	Dolby Pro Logic IIと同じですが、特に音楽向けです。本機のセットアップメニューからアクセスできるユーザーが調整可能な3つのパラメーターがあります
DTS Digital Surround	DVDビデオなどのディスクに5.1チャンネルの音声信号を保存する規格
DTS 96/24	DTSデジタルサラウンドと同じですが、よりよい音質を生み出します
DTS ES Matrix	サラウンドスピーカーに伝えられるDTS 5.1音声信号を変換して、7.1音声用の2個のバックスピーカーにまで拡張します

サラウンドサウンドのフォーマット	内容
DTS ES Discrete	DVDビデオなどのディスクに6.1チャンネルの音声信号を保存する規格。AKURATE KONTROLでは、6.1音声声を7.1音声に変換して、追加のチャンネルを2個のバックスピーカーにまで拡張させることができます
DTS 96/24 ES Matrix	サラウンドサウンドスピーカーに伝えられる5.1音声声を7.1音声に変換して、2個のバックスピーカーに拡張し、DTSデジタルサラウンドよりも更に高い音質を生み出します
Phantom	センターチャンネルに送られる5.1または7.1の音声信号を、左右のフロントスピーカーに伝えます
3 Stereo	5.1または7.1の音声信号をダウンミックスして、フロントスピーカーとセンタースピーカーにだけ伝えます
Stereo Sub	5.1の音声信号を2チャンネルの信号にダウンミックスして、フロントスピーカーとサブウーファーに送信します。ステレオ信号をフロントスピーカーとサブウーファーに送信します
MPEG Stereo	MPEGファイルでサラウンドサウンド音声を保存する規格
MPEG Surround	MPEGファイルでサラウンドサウンド音声を保存する規格
AAC Stereo	2チャンネル音声を保存する規格
AAC Surround	サラウンドサウンド音声を保存する規格
LIMBIK Party	本質的に同じ音声信号をお使いのシステム内のすべてのスピーカーに送信するリンのアルゴリズムです

\*これらのフォーマットを聞くためには、フルサラウンドサウンドスピーカーシステムは必要ありません。システムでフロントスピーカー（およびサブウーファー）以外も使用している場合、これらフォーマットのどれを選択した場合も信号は5.0信号に変換され、システム内のスピーカーの数にあわせてダウンミックスされます。

2チャンネルで使用できるサラウンドサウンドフォーマットとサラウンドサウンド入力信号は、下記の表に記載しています。

#### 2チャンネル音声入力

	アナログ信号	PCMステレオ信号	LtRtダウンミックス信号*	LoRoダウンミックス(Pure Stereo)信号*
Stereo	2.0	2.0	2.0	2.0
Dolby Pro Logic II**	5.0	5.0	5.0	5.0
Dolby Pro Logic II Music**	5.0	5.0	5.0	5.0
LIMBIK Party	5.0 & 7.0	5.0 & 7.0	-	5.0 & 7.0
Stereo Sub	2.1	2.1	2.1	2.1

\* LinnのAKURATE CDプレイヤーをマルチチャンネルソースとして使用している場合、AKURATE CDのオーナーズマニュアル17ページの「User Options, Downmix (ユーザーオプション、ダウンミックス)」の項をご参照ください。Linn UNIDISK 1.1または2.1のプレイヤーをご使用の場合、UNIDISKのオーナーズマニュアル11ページ「ダウンミックス」の項をご参照ください。

\*\* これらのフォーマットを聞くためには、フルサラウンドサウンドスピーカーシステムは必要ありませんシステムでフロントスピーカー（およびサブウーファー）以外も使用している場合、これらフォーマットのどれを選択した場合も信号は5.0信号に変換され、システム内のスピーカーの数にあわせてダウンミックスされます。

#### サラウンドサウンド音声入力

	Dolby	DTS	MPEG	AAC	アナログ信号
Stereo	2.0	-	-	-	2.0
Phantom	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1
3 Stereo	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1
Stereo Sub	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1
Dolby Digital	5.1	-	-	-	-
Dolby Digital + Dolby Digital EX	6.1	-	-	-	-
DTS Digital Surround	-	5.1	-	-	-
DTS 96/24	-	5.1	-	-	-
DTS ES Matrix	-	7.1	-	-	-
DTS ES Discrete	-	7.1	-	-	-
DTS 96/24 ES Matrix	-	7.1	-	-	-
MPEG Stereo	-	-	2.0	-	-
MPEG Surround	-	-	5.1	-	-
AAC Stereo	-	-	-	2.0	-
AAC Surround	-	-	-	5.1	-
LIMBIK Party	5.0 & 7.0	5.0 & 7.0	5.0 & 7.0	5.0 & 7.0	-

#### 注記：

使用できるサラウンドサウンドフォーマットは、処理される信号タイプによって決まります。

サラウンドサウンドフォーマットを選ぶ際、現在の音声信号用のデフォルトフォーマットは、前面パネルディスプレイで例えば\*stereo\*のように「\*」付きで表示されます。

## 深夜映画モード

LinnのUNIDISKプレイヤーまたは他のDVDプレイヤーで使用。

DVDビデオでドルビーデジタル音声信号を圧縮し音量を落とすことができる機能です。爆発シーンなどで瞬間的に増す音量を抑えます。

### 深夜映画モードのオン/オフ

- リモコンの**SURR**を押し続けて、ディスプレイにMIDNIGHT MOVIE MODE ON/OFFを表示させます。
- SURR**を押してオン/オフを切り替えます。

深夜映画モードがオンになっていると、前面パネルディスプレイにMIDNIGHTと表示が出ます。

### 注記:

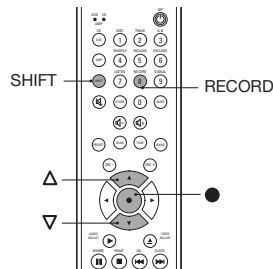
圧縮の程度は、Audioセットアップメニュー内のMidnight Movieの項目を使用して調整することができます（9ページの「Midnight Movie」の項をご参照ください）。

### もとの音声設定に戻す

上記のすべてのオーディオ設定をニュートラル/デフォルトに設定し直す：

- リモコンの**AUDIO ADJUST**を押し続けて、前面パネルディスプレイにAUDIO SETTINGS RESETと表示させます。

## レコーディング機能



レコーディング機能により、音声信号をAKURATE KONTROL経由でDATレコーダーなどの録音装置に送信することができます。下記の表には、AKURATE KONTROLの送信機能の詳細を記載しています。

	アナログ出力	デジタル出力
アナログソース	あらゆるアナログソースをアナログ出力することができます	アナログソースをデジタル出力することはできません
デジタルソース	現時点で再生しているデジタルソースのみアナログ出力できます	現時点で再生しているデジタルソースのみデジタル出力できます

レコードパスをセットする：

- リモコンの**SHIFT**を押してから**RECORD**を押します。
- ▲/▼キーでレコーディングしたいソースを選び、●を押します。
- レコーディングに使いたいモードを▲/▼キーで選択し、●を押します。

ソースのリストに関する注記:

NO SOURCE: レコードバスが設定されません。

KNEKT:AKURATE KONTROLのレコードバスを使用すると、KNEKT Line Driverシステムをお使いの方はこの設定により再生中のソースを変更できます（レコードバスも変更されます）。レコードバスを保護するには、必要なレコーディングオプションを選択します。レコーディングが完了したら、KNEKTオプションを再度選択します。

レコーディングのモードは次の通りです。

オプション	説明
LtRt 44.1 kHz	お使いのレコーディング装置の動作周波数に合うオプションを選びます。（これらのオプションで、マルチチャンネル信号はダウンミックスされて2チャンネルとなります）
LtRt 48 kHz	
LtRt 88.2 kHz	
LtRt 96 kHz	
LtRt As Input	出力周波数は入力周波数と同じ、マルチチャンネル信号はダウンミックスされて2チャンネルとなります
Bit Perfect	出力周波数は入力周波数と同じで、信号の処理は行われません
Analog	音声信号をアナログ出力します

注記：

選択したソースからの音声信号は、全てのアナログおよび/または全てのデジタル出力に同時に送信されます。レコーディング装置をどの出力に接続しているかを指定する必要はありません。

使用可能なレコーディングモードは、入力信号がアナログかデジタルかによって決まります。

著作権保護のため、オーディオ、ビデオのディスクによっては、録音を妨げるシステムが組み込まれていることがあります。

## 仕様

電氣的	
主電力の範囲	AC 100 - 120 V; AC 220 - 240 V
商用電源周波数範囲	50 - 60 Hz
消費電力	30W以下
Physical	
重量	3.7 kg / 8 lb 2 oz
外形寸法	381 (幅) × 355 (奥行) × 80 (高さ) mm

信号インターフェイス - 入力				
タイプ	端子	レベル	インピーダンス	備考
デジタル電気入力 (SPDIF)	3 × RCA	500 mVp-p	75 Ω	-
デジタルオプティカル入力	3 × TOSLINK	-	-	-
ラインレベル	12 × RCA	2 Vrms	10 kΩ	アナログ
MM phono	2 × RCA	70.0 mVピーク@ 1 kHz、+40 dB @ 1 kHz	48 kΩ 68 pF	-
MC phono	2 × RCA	ハイゲイン (デフォルト) 5.0 mVピーク@ 1 kHz、+64 dB @ 1 kHz ローゲイン(販売店で設定可能)15 mVピーク@ 1 kHz、+54 dB @ 1 kHz	180 Ω 10 nF	-

信号インターフェイス - 出力				
タイプ	端子	レベル	インピーダンス	備考
デジタル電気出力 (SPDIF)	1 × RCA	500 mVp-p	75 Ω	-
デジタルオプティカル出力	1 × TOSLINK	-	-	-
ラインレベル	8 × RCA	2 Vrms	330 Ω	サラウンド出力
ラインレベル	2 × RCA	2 Vrms	330 Ω	レコード出力

コントロールインターフェイス		
タイプ	ポート名	端子
RS232	RS232: In, Out	2 × RJ12
IR	IR: 1, 2	2 × 3.5 mm jack
Knekt	1 ~ 4, Main	5 × RJ45
Knekt/IR	RCU	1 × RJ45
RC5	RC5: Remote In, Out	2 × RCA

## 保証とサービス

本製品はお買い上げになった国できちんご使用いただけるように調整されており、お客様の合法的権利が制限を受けることはありません。加えて、製造上の欠陥によってトラブルが発生した場合には、弊社が無償にて部品を交換いたします。詳しくは販売店までお問い合わせください。

ヨーロッパの各地、アメリカ合衆国、その他いくつかの市場では、お買い上げをご登録いただいたお客様に対して、拡大保証が適用される場合があります。製品に添付された登録カードには販売店のスタンプが必要です。なるべく早くご返送ください。

### 警告

製品をむやみに改造解体した場合は保証が無効になります。ユーザーが修理・調節すべき内部部品はありません。製品サービスに関するすべての問い合わせは正規販売店でのみ対応しています。

### 技術サポート、お問い合わせ

技術サポート、製品についてのお問合せは、最寄りの販売店またはリン・ジャパンまでご連絡ください。

販売店に関してはホームページをご覧ください。  
[www.linn.co.uk](http://www.linn.co.uk)

### 重要

製品を購入した日付などを記載した領収書を保存しておいてください。

修理のための輸送の際には、必ず製品に保険をかけてください。

### Linn Products Limited

Glasgow Road  
Waterfoot  
Eaglesham  
Glasgow G76 0EQ  
Scotland, UK

電話: +44 (0)141 307 7777  
Fax: +44 (0)141 644 4262  
ヘルプライン: 0500 888909  
電子メール: [helpline@linn.co.uk](mailto:helpline@linn.co.uk)  
ウェブサイト: [www.linn.co.uk](http://www.linn.co.uk)

### Linn Incorporated

8787 Perimeter Park Boulevard  
Jacksonville  
FL 32216 USA

電話: +1 (904) 645 5242  
Fax: +1 (904) 645 7275  
ヘルプライン: 888-671-LINN  
電子メール: [helpline@linninc.com](mailto:helpline@linninc.com)  
ウェブサイト: [www.linninc.com](http://www.linninc.com)

### Linn Deutschland GmbH

Hühnerposten 1d  
D-20097 Hamburg  
Deutschland

電話: +49-(0) 40-890 660-0  
Fax: +49-(0) 40-890 660-29  
電子メール: [info@linngmbh.de](mailto:info@linngmbh.de)  
ウェブサイト: [www.linn.co.uk](http://www.linn.co.uk)